

# 【視 力】

- ※ トプコンスクリノスコープは・・・  
NEAR・・・・・・30cm  
FAR・・・・・・5m 前方の視力表を見るようになっています。

## 視力計の始業点検を行う

- NEARとFARのレバーの確認。（通常は**FAR 下向き**です！）



- 電源が入るか？（電球が切れていないか・断線していないか）
- 視力計が汚れていないか？（額のあたる部分など）
- ※ **レンズの部分は水分のあるもので拭かないこと！**（レンズに跡が残ってしまいます）
- 実際に覗いてみて**FAR**の確認、右目（1）、左目（2）を確認する。

## 視力測定の注意点

- 0・1以下の場合は**0・0**と記入。（事業所によっては0・1↓と記入することもあるので注意！）
- 耳の不自由な人や言葉が通じない人（外国の方）には見本を見せたり、ジェスチャーなどで説明する。嫌な顔をせずていねいな対応をする。
- 遠近両用メガネを使用している人は、遠くを見るほうのレンズで見ってもらう。
- 受診者の額を所定の位置に付くようにして、両目をあけて見ってもらう。
- 目を細めていないか注意する。
- 数字は**正確・ていねいに記入！**

## 視力測定の記事方法

- 眼鏡、コンタクトレンズ（CL）使用の有無を確認する。
- 裸眼の場合は受診票視力欄の裸眼の文字の部分で○で囲う。  
⇒⇒その際レーシックをしたことがあるか確認。レーシックをした方は欄外にレーシックと記入。
- 眼鏡、コンタクトレンズの使用は矯正視力とする（ただし、老眼鏡ははずして検査する。）  
⇒⇒視力欄の矯正の文字で○で囲い、眼鏡または CL の欄に必ず○印を入れる。  
◎受診票の裸眼または矯正のどちらかを囲むことで記入の間違いを防ぐ！  
◎結果作成時、前回値と差異がある場合の確認になる

※裸眼・矯正の記入欄が分かれていない場合は、矯正の場合に必ず G または CL の記入をすること！

⇒⇒⇒0. 1が見えない場合は0. 0と記載（事業所によって記入方法は変わるので責任者に確認を）

視力	裸眼	[右]		.		[右]		.		眼鏡	CL
		[左]		.		[左]		.		眼鏡	CL

必ずどちらかに○をする！

矯正の方は必ずどちらかに○をする！

視力	裸眼	[右]		.		[右]		.		眼鏡	CL
	レーシック	[左]		.		[左]		.		眼鏡	CL

レーシック実施の方はここに記入して下さい。

- ※ 過去にあった事例として  
健診結果表〔視力欄〕  
前回値 矯正視力 右（1. 5） 左（1. 5）  
今回値 裸眼視力 右 1. 5 左 1. 5  
⇒結果作成時に今回矯正視力に記入すべきところを間違えて裸眼視力に記入したのではないかな？  
⇒⇒本人に確認したところ、レーシック手術を受けており、間違えではなかった。  
もしレーシックの記入があれば本人に確認することもなく、そのまま処理ができます。  
また、検査前に○をすることにより、単に記入場所を間違えてしまったというミスをなくすためにこのルールを作成したので必ず徹底するようにして下さい。

## 測定方法

- 原則として右目（1）から測定する。（右目と左目の記入間違いをなくす為）
- 受診者に検査方法を説明する。

『両目を開けて覗いてください。』

『番号の下にある輪の隙間の開いている方向を教えてください。』

『〇番はどうですか？』『〇番は・・・・・・・・』

- \* 番号を指定したらなるべく早く答えてもらい、長い間見続けさせないようにする。
  - \* 受診者が2つ続けて間違えるところまで検査をしていき、正しく答えた最後の値を記録する。
  - \* 乱視のある人は正解がとびとびになったり、検査のたびに数値が変わったりするので、慎重かつていねいに検査する。
- 検査が終了したら
    - 『はい、終了です。』
    - 『視力検査の結果はこちらです。』
    - \* と言いながら、問診表に記入した数値を見せる。
    - \* 測定値は読み上げない。

## 測定後の注意

- 測定の傾向として、最初に測定した目の視力のほうが低く出る。前回との差や、左右の差がそれぞれ3段階以上ある場合はもう一度検査をする。その際、記入欄左上に「レ」点チェックを記入。
- メガネ・コンタクトレンズの交換、目の病歴などあれば、欄外にコメントしておく。
- 上記以外に前回との差が大きく出た場合は、

◎ NEAR・FARのレバーが間違っていないか？

◎ 左右を間違えていないか？

◎ 夜勤明けや体調不良ではないか？ といったことを疑ってみる。

◎ 左右間違いなく記入してあるか？

※ 検査後、受診者にいろいろと聞かれることがあると思いますが、絶対に**断定した答**

**え方はしない**でください。判定は私達にはできません。

※ 『診察で先生に伺ってみてください。』

※ 『もし心配なようでしたら、一度眼科の受診をおすすめします。』

などといった感じで説明してください。

※ 測定方法や受診者からの質問など・・・分からないことや困ったことがあったとき

は、自分で判断せず、必ず現場責任者に報告してください。m(-- )m